

# 都市的生活



① 東京駅（東京名所「東京停車場之前景」さいたま市 鉄道博物館蔵）東京駅は、1914年に開業しました。



② 宝塚少女歌劇団（「モンパリ」  
1927年 阪急電鉄蔵）1914  
年に第1回公演を行い、全国の  
少女のあこがれの的になりました。

大正時代の日本では東京や大阪の都市人口が急増し、数百万人の人口が集中する大都市になりました。生活は洋風化し、劇場や遊園地なども建設されました

# 関東大震災



## 関東大震災

1923年9月1日、関東大震災が起こり、東京や横浜は壊滅状態となりました。被災者は約340万人、死者・行方不明者は10万人をこえました。この混乱のなかで、朝鮮人が井戸に毒を投げこんでいるといったデマが住民や警察によって広められました。住民が組織する自警団や軍隊・警察によって、多くの朝鮮人のほか、社会主義者や中国人が殺害される事件が起こりました。事件の背景には、突然の被災による精神的混乱、朝鮮人に対する差別意識などがあったものと考えられます。

なお、震災復興事業により、東京や横浜は都市計画に基づいて整備され、町の景観も大きく変わりました。

④ 関東大震災のようす  
(1923年 東京)



1923年に起きた**関東大震災**によって東京の下町は大きな被害を受けました

# 文化の大衆化



⑤ ラジオのある暮らし 放送時間は、朝9時から夜9時半まで、途中で休みがありました。



⑥ 大正時代に刊行された雑誌(東京都 日本近代文学館蔵)



1925年に始まったラジオ放送はお茶の間の人気を集め、新聞や雑誌に親しむ人も増えました

# 大正時代の文学



## ⑦ 芥川龍之介

(1892～1927) (東京都 国立国会図書館蔵) 『鼻』『羅生門』などで知られています。現在も優れた純文学作品にいくられる芥川賞は、彼を記念した文学賞です。

小説や文学も多くの人に親しまれ、芥川龍之介らの作品が人気をよびました。

**小林多喜二**は労働者や農民が貧困から立ち上がる姿をえがいた**プロレタリア文学**を発表しましたが、民衆に広がることをおそれた政府によって弾圧されました。

プロレタリアとは労働者という意味で、政府は労働者が主人公になる文学の影響を受けた民衆の中から労働者や民衆が中心の国をつくろうとする動きが生まれてしまうことをおそれていたんだね